

# その他のツバメ

日本で繁殖しているツバメ類とアマツバメ類には、今回の調査の対象にした5種の他に3種がいます。

これらは建造物に巣を作った記録はありませんが、飛んでいる姿はよく見かけます。

参考までに、それぞれの種の分布や習性を紹介しておきます。



## ショウドウツバメ *Riparia riparia*

ツバメ科の1種で体型はイワツバメによく似ていますが、背中は褐色で、胸にも茶色い帯があります。夏鳥として渡来し、北海道だけで繁殖しています。泥の崖に穴を掘って巣にしており、集団で繁殖するので、多くの個体が巣を作っている崖には無数の穴が開いています。本州より南では、渡りの季節だけに姿を見せます。



## アマツバメ *Apus pacificus*

アマツバメ科の代表で、鎌のような形をした翼で高速で飛ぶことができます。夏鳥として渡来し、高山や海岸の岩壁のすき間に巣を作ります。繁殖地は局地的ですが、飛んでいる姿は各地で見ることができます。ヨーロッパアマツバメは煙突などに巣を作ることが知られていますが、アマツバメではそうした例はまだ知られていません。



## ハリオアマツバメ *Chaetura caudata*

大型のアマツバメ科の鳥で、背中にほんやり白いところがあり、尾羽1枚1枚の軸の先が針のようにとがっているのが特徴です。夏鳥として渡来して北日本で繁殖しており、おもに樹洞の中に巣を作りますが、巣はめったに見つかりません。渡りの季節には、その他の地域でも姿が見られることがあります。



# 気をつけていただきたいこと

- この調査は、みなさんの日常の生活の範囲内で行っていただくものです。ですから、この調査のためだからといって、わざわざふだんは行かないようなところへ出かける必要はありません。
- とくに、危険なところや立ち入りが制限されているようなところへは、お出かけにならないでください。また、調査は日中の明るいうちに行うようにしてください。
- 調査中に事故等に遭われてもお世話することができません。調査にあたっては事故やケガに十分ご注意ください。
- 個人の住宅や商店に作られた巣の写真をとる時や観察にあたっては、かならずそのお宅の方に声をかけて、了解をいただいでください。
- 今回の調査はツバメの巣の写真をとることによって、ツバメの分布を知るためのものです。ツバメを驚かせたりすることのないように注意してください。
- 小学生以下の方が調査される場合は、危険防止のため、かならず保護者の方や先生がご指導くださるよう、お願いいたします。

## さまざまな情報を マルチメディアで

身近な生きもの調査に関する情報はもちろん、その他の緑の国勢調査に関する情報などをFAX、インターネット、パソコン通信で取り出すことができます(情報は3ヶ月に1回程度で更新予定)。

①FAXサービス(NTT World Nature Network) .....FAX番号 03-5353-7460(4301#)

\*ダイヤル回線の場合は、ガイダンスが聞こえたら電話機のスイッチを「PB」または「トーン」に切り替えてください。

②インターネット(NTT World Nature Network) .....アドレス <http://www.wnn.or.jp/wnn-n/>  
(EICネット) .....アドレス <http://www.eic.or.jp/>

③パソコン通信(EICネット) .....アクセスポイント 03-3595-3271

\*NIFTY-ServeまたはPC-VANから接続する場合は「他のネットワークへの接続」のメニューから「EICネット」を選択。

本書はつぎの方々の協力を得て作成しました。

|        |  |
|--------|--|
| [企画検討] | 自然環境保全基礎調査検討会<br>身近な生きもの分科会<br>梶 真史(厚木市教育委員会生涯学習課)<br>(座長)大場 秀章(東京大学教授)<br>大森 雄治(横須賀市自然博物館学芸員)<br>浜口 哲一(平塚市博物館学芸員)<br>望月 賢二(千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部長) |
| [執筆協力] | 浜口 哲一  |
| [写真]   | 浜口 哲一・平田 寛重・高橋 健<br>ネイチャープロダクション   |
| [図版]   | 秋山 幸也  |
| [デザイン] | デザインルーム風都市   |



●調査のてびき●

■平成9年3月 第1刷発行  
■発行  
環境庁自然保護局  
計画課自然環境調査室  
〒100東京都千代田区霞ヶ関1-2-2  
TEL・FAX03-3591-3228